

Flamenco en vivo

スペイン/バダホス出身。12歳の時にギターを習い始め、14歳でギタリスト及びカンタールとしてプロデビューし、バルセロナにある数々の有名タブラオで活躍。トレオ、トレア、ジェルバパエナ等と共演する。17歳でマドリッドに拠点を移し、タテイラと共演後フランスやドイツなどでも活動の場を広げ、またグロスト・バル・レジェスと共にメキシコのタブラオでも活躍する。1987年よりセビージャに拠点を移し、マリオ・マジャ舞踊団に4年間参加や、タブラオ「ロス・ガソス」に出演などして活動。2011年現在、日本在住。多くの日本人アーティストとも舞台をともにし、好評を得ている。



Cante ミゲル・デ・バダホス

1977年セビージャ出身。アンダルシアのタブラオやペーニャなどでカンタールとして活動する。「NARANJITO DE TRIANA」ソレアレス・デトリアーナコンクールにてファイナリストとなる。国外では、SEMANA ANDALUZA DE PARIS/パリ公演、ポルトガル、アソレス島、コスタリカ(スペイン大使館による招聘)、タンペレのフラメンコフェスティバル等に出演。その後セビージャにてミゲル・バルガスとエスベランサ・フェルナンデスのカンパニーの専属カンタールとしてFRINGE FESTIVAL (エディンバラ)に参加。2009年9月より半年間、新宿エル・フラメンコにて出演。2010年ピエナル・デ・アルテ・フラメンコ・デ・セビージャではロペ・デ・ベガ劇場にてミゲル・バルガスカンパニーの作品で出演。2010年11月より東京に拠点をうつし活動開始。



Cante エル・プラテアオ

12歳よりGuitarを手にして以来、ライブ活動をしながら20歳で新堀ギター教室のエレクトリックギター講師を務める。その後、恩師ダビ・ラインフィエスタに出会い、師事。99年、教則ビデオを出版。2000年、TVC曲を作曲し、本人が演奏・出演。2001年、ソロアルバム「Obsession 2001」を発売。また同年、スペイン、マドリッドでの日本人による公演に出演。地元新聞「EL PAIS」紙上でも高い評価を得る。現在、日本を代表するフラメンコギタリストとして、多くの舞踏家から作曲、演奏や音楽監督を委嘱され活躍中。イベント、タブラオ、TV、CM、映画等にも多数出演。



Guitarra ICCOU (矢木一好)

大阪府出身。4才よりヴァイオリンを始める。相愛大学音楽学部にてヴァイオリンと室内楽を久田緑氏に師事。フラメンコ音楽を中心にコンサート、スタジオワーク、TVや映画音楽製作に参加。サポートメンバーとしてコンサート、レコーディングに参加。国内外で公演を行う。2000年「スパニッシュ・コネクション」を結成。メジャーレーベルから通算9枚のアルバムを発売し、数多くの番組テーマソングやCM曲に起用される。また、ドラマ「魂断えい」や、「新・三銃士」の音楽も全編担当する。2008年「平松加奈 con Armada」を立ち上げ、2010年5月に1stアルバムをリリース。フラメンコ舞踏家との共演も数多く行っている。



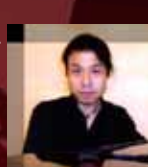
Violin 平松加奈

フリーのセッションミュージシャンとしてノンジャンルで活躍するマルチパーカッショニスト。リーダーグループ「Tumba Créole」をはじめ多種多様なライブプロジェクトを主催しながら多数のグループに在籍している。伊藤多喜雄、サーカスなどのサポートや、渡辺香津美・アントニオ・アロンソなど、多数のアーティストと共演。また、「Masaj」名義でのソロ活動や舞台作品も発表し、作、編曲、舞台音楽、演出も手掛けている。1998年トゥンパ・クレオール1stCD、2005年ソロ1stCDをリリース。



Percusión 海沼正利

1970年、京都市出身。上京後、ピアノを橋本文夫氏、キーボードを久米大作氏に師事。21歳からジャズピアニストとして活動。後にドラマーのファンキー末吉、二胡奏者のウェイウェイ、ウーラと「五星旗」を結成。日本のみならずニューヨーク、香港、北京でアルバムをリリース。自己のピアノリサイタルでは3枚のアルバムをリリース。その他フラメンコとジャズを融合させた「平松加奈 con ARMADA」等々、他方面にわたりアルバムをリリース。ライブやコンサートで都内関東を中心に全国的に活動中。



Piano 進藤陽悟

幼少の頃からクラシックバレエを始める。11年間のスイス留学中に、スペイン、アンダルシア地方を訪れ、帰国後フラメンコに転向。マヌエル・バタノス、コンチャ・バルガスに師事。フラメンコスタジオ estudio por diosを主宰。毎年、渡西を繰り返し、自分の踊りを見つけるために心血を注ぎ続けている。



Baile 辻川輝

Baile 鈴木敬子

3歳でクラシックバレエを始め、高校卒業と同時に渡西しスペイン舞踊全般を6年間学ぶ。各地の劇場、タブラオ、テレビ等で活躍し、1988年「ピエナル・デ・アルテ・フラメンコ」にはソロとして出演。帰国後、1989年よりスタジオ「カデーナ フラメンカ」を主宰し、同時に公演活動を展開。アントニオ・カナーレスらと共演。スペインでも積極的に公演活動を行い、2004年「ギティエーレス・デ・アルバ」等に出演。著名なスペインアーティストと共演を果たす。多数の教則ビデオ等で監修・監督を務め、芸能人のステージやCMの振りも手掛ける。テレビ出演も多く、また、2010年2月には芝居にも挑戦し好評を博した。日本フラメンコ協会理事。

鈴木敬子 フラメンコライブ vol.12 in OSAKA

2011年11月6日(日)

16:00 開場 17:00 開演

前売¥5,000 前売ペアチケット¥9,000

当日¥5,500 (税込) 全席自由 1ドリンク代別途要

【会場】 studio & performance

Ardiente
studio ALSUR 13 studio

住所 大阪市淀川区十三東3丁目28-16
Kimura Bld. B1F

アルディエンテ TEL 06-6307-2606



阪急十三駅東口より
商店街を東へ
ミスタードーナツを越えて
次の筋を左折
100mローソク隣

【ご予約】 スタジオ アルスール 検索 <http://www.studio-alsur.com/>

【お問合せ】 スタジオ アルスール TEL 06-6262-5539

